

社会福祉学科の歴史

日本の数多くある社会福祉系大学のなかで、
「最も古い歴史と伝統」を誇る学科

明治学院大学社会学部社会福祉学科は、
1928 (昭和3) 年の社会科創設に始まる長い歴史を有します。

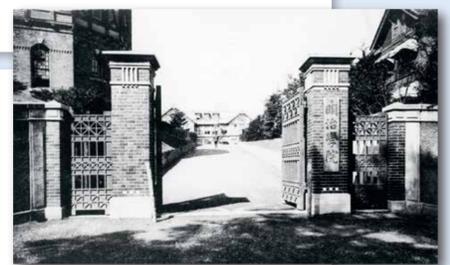
社会福祉領域に数多くの研究者、実践者を輩出しており、
世代を超えた縦のネットワークと同世代の横のネットワークは、
現在の卒業生の就職はもちろん、学内における学びにも生かされています。

1863年

J. C. ヘボン夫妻が明治学院大学の歴史的起源となる
ヘボン塾を開設。

1886年

東京一致神学校、
東京一致英和学校および英和予備校を合併して、
名称を**明治学院**とした。



1928年

社会科を設置。

1965年

社会学部を設置。

現在の**社会学科**と**社会福祉学科**体制。



1959年

東京の大学で**最初**の**社会福祉学専攻修士課程**を創設。

1969年

日本の大学で**最初**の**社会福祉学専攻博士課程**を創設。

2015年

社会学部設立50周年